

## 一般用漢方製剤委員会広告研修会を開催(ハイブリッド形式)

2022年10月28日(金)、日漢協大会議室において一般用漢方製剤委員会主催の広告研修会が開催された。当日は、会場とリモートの併用によるハイブリッド形式で開催され、参加者数は会場9名、リモートで180名であった。

講師に、日本OTC医薬品協会広告委員会の白翰敬文委員長をお招きし、「最近の一般用医薬品の広告規制と違反事例について」と題し、講義いただいた。



【白翰 敬文 委員長】

内容は、前半が広告の適正指導の体系について、後半は広告違反事例の紹介とガイドラインについての解説であった。本研修の目玉でもある違反事例の紹介について、実際の映像を示しながら、様々な切り口から広告違反のパターンが指摘された。

例えば、効果を示すグラフに目盛りがなく、イメージのみの表し方による不正確な情報の伝達になってしまっているケースや「史上最高処方」「かつてない効き目」等、禁止されている最大級表現を用いている実例など、11の不適切な事例が紹介された。



【会場の様子】

今回の広告研修会は、国民の生命・健康に貢献する医薬品企業として、医薬品等適正広告基準順守を徹底し、一般生活者に対して正確な情報を届けることにより、国民の健康に資することが重要であることをあらためて認識する貴重な機会となった。